

活動情報

取組項目	生物の生息状況の把握		
組織名	三区町環境保全隊	那須 管内	那須塩原 市

活動目的：田んぼと生き物の関係についての理解を深める

活動内容：田んぼの土手・水田の土壌・田んぼまわりの生き物を調査

農業者 12 名、非農業者 17 名、子供 23 名の参加で田んぼまわりの生きもの調査を実施した。今回は、農業者と親子の組み合わせの「カエル班」、家族ごとに担当する「ウケ班」、完全有機水田の土壌調査を行う「コドラ-ト班」、周辺の昆虫等を調査する「特別調査班」に分け行動開始です。

「カエル班」は、最初はなかなか見分けることができず悪戦苦闘し、トウキョウダルマガエル・ニホンアカガエ・ニホンアマガエルを確認することができましたが、調査中にヘビに遭遇し大騒ぎとなりました。

「ウケ班」は、前日に仕掛けておいた 5 個のウケを、農家の人に上げてもらい、5 家族が一個ずつ担当し、ウケの中のドジョウを親子で協力して数えていました。

「コドラ-ト班」は、JAS 有機水田から採取した土を流水で綺麗に流し、白いパレット上の残留物に水を混ぜて微細生物の観察です。

子供も大人も無言で真剣に探した結果、イトミミズ・ユスリカ・ミジンコを確認しました。

「特別調査班」は、地域在住の虫博士と一緒に、虫アミと虫カゴを持って田んぼまわりの生き物の調査です。

カマキリ・オンブバッタの幼虫等 16 種類の生き物を捕獲し、名前や特性について勉強しました。今年熱中症の心配もあり、野外での活動は 1 時間ほどで終了、室内では事前に調査したオニヤンマの羽化の様子、トンボネやイナゴ・バッタ等をスライドで説明し、プレゼントした「生き物の下敷き」を見ながら、生きものの名前や特性について勉強しました。

最後に調査結果の報告と話し合いです。「カエルとドジョウをさわったのしかった」「いろいろな虫が見られてたのしかった」「とんぼのはなしがたのしかった」等多くの感想が述べられました。保護者からも、「子供の楽しそう

な顔や、真剣に虫を探している姿をみることができてうれしかった」との感想が述べられると同時に、田んぼと生きものとの関係についての説明にも納得した様子でした。

